「まいどはやバス」沿線施設・組織と連携した取組の実践

株式会社富山市民プラザ：追分　崇、島倉　駿輝
広場ニスト / ひと・ネットワーククリエイター：山下　裕子
株式会社日本海コンサルタント：片岸　将広、神納　毅、貝原　礼奈

Keyword　「居住者 MM」「バス利用促進」「中心市街地活性化」「コミュニティバス」

1　背景・目的

・コミュニティバス「まいどはやバス」は富山駅南側のまちなか外縁部と富山駅及び総曲輪の２拠点を結ぶ環状ルートを両回りで運行
・まいどはやバスは住民や来街者の移動を支え、まちなかの回遊性を高める役割を持っているが、沿線住民の利用数が低い状況
・まいどはやバスを知って使ってもらうため、沿線施設と連携し、まいどはやバスの利用定着や楽しみを高める方策を検討

▼まいどはやバスの運行概要▼

事業主体：株式会社富山市民プラザ
運行事業者：富山地方鉄道株式会社
運　　賃：200 円（小学生半額）
運行時間：９時 -20 時（年中無休）
運行間隔：30 分間隔（２便 / 時間）

まちなか外縁部の住宅地と富山駅や総曲輪を結ぶ両周り運行
⇒まちなかとの接続を増やし、まちと人をつなぐ移動手段として運行

▼まいどはやバスの運行ルート▼

富山市立愛宕保育所

富山市立柳町保育所

神通川緑地公園
（右岸パークゴルフ場）

グランドプラザ

2　プロジェクト内容

・高齢者が楽しむパークゴルフと連携した冠協賛大会「まいどはやバス杯争奪！パークゴルフ大会 2023」を開催し、まいどはやバスの利用促進と PR
・小学生を対象にまちなか夏休み自由研究プロジェクト 2024「見て！乗って！調べて！まいどはやバス博士になろう！」を開催し、子ども達と保護者への利用促進と PR
・沿線保育所の年長児の卒園記念を兼ねた園児によるバス車内アナウンスの放送を開始

▼まいどはやバス杯・パークゴルフ大会 2023▼

・R５年 9/23（土）神通川緑地公園右岸パークゴルフ場で開催
・101 名が参加し、大会を通じて、まいどはやバスの PR や賞品等を進呈
・大会の状況を踏まえ、まいどはやバスとパークゴルフ、懇親会をセットにした企画を立案、試験的に実施

▼見て！乗って！調べて！まいどはやバス博士になろう！▼

・R６年 8/10（土）にグランドプラザ等で開催し、小学生と保護者（36 名・満席）が参加
・まいどはやバスの役割や他の公共交通との違いの解説、バス乗車による「おでかけ体験」を実施

▼沿線保育園児による車内アナウンス▼

・沿線４保育所 62 名の声を録音し、R6 年４月から開始
・園児一人ひとりの元気で個性ある声が車内に流れ、車内の楽しい雰囲気を演出

3　効果・まとめ

▼まちなか自由研究プロジェクトにおける参加者からの主な声▼

●バスを知り、考える機会が持てて良かった
・子供がバスに興味があるので、バスについて色々教えていただけて良かったです。
・バスについて考える機会をいただけて貴重な体験でした。
・富山にいながらあまり知ることがなかったので、色々知ることができて良かったです。

●バスに乗車でき、子どもも大人も楽しめた
・バスに乗れて楽しかった。
・普段は体験できないことをさせてもらえて、大人も子供も大満足でした。乗車体験すごく楽しかったです！！

●また、参加 / 乗車したい
・とても分かりやすく、また乗ってみようと思いました。
・バスに乗っていた時の景色や最初の問題で「へぇ～」と思ったところがいっぱいでした。また聞きたいです。

▼保育園からの反応▼

・園外保育でバスを利用する際、漢字が読めない園児にとって停留所を告げる社内アナウンスは重要
・自分の声が放送されるのは良い企画で記念になり、バスを身近に感じるようになるのではないか

園児がバスアナウンス
富山の「まいどはや」が収録

富山市の第三セクター・富山市民プラザは4月から1年間、運営するコミュニティバス「まいどはやバス」の車内アナウンスに、運行ルート沿線にある保育所の園児の声を活用する。23日は4施設の年長児約50人が収録に臨んだ。

富山市柳町保育所では14人が「次は北新町東、北新町東～」などと停留所名をマイクに向けて発し、全員で「ご乗車ありがとうございました」のフレーズも元気いっぱい声を響かせて収録した。

収録は卒園記念とバスの利用促進を目的に企画された。まいどはやバスの利用者数は2007年度の約26万人をピークに右肩下がりで、21年度に赤字運行の改善を図るためにルートと運賃が見直された。現在は富山駅前から市街地を1周するコースで、西ルートと東ルートがある。

車内アナウンスの収録に臨む園児＝富山市柳町保育所

災害便乗サイバー犯罪の手口に理解
富山で対策連絡協

県サイバーテロ対策連絡

＜沿線施設等と連携した取組の実践＞

●沿線施設と連携した取組＝「現在・将来の新規利用者」「利用定着」「市民・来街者の回遊性向上」「まちなかの賑わい創出」が期待
●バス乗車 × まちを楽しむ仕掛けの継続＝人々の行動変容
→「まいどはやバス」の意義や持続可能性を高める効果が期待
●今後も、まちと人をつなぐ社会インフラとして沿線施設と連携した取組を実践し、人中心のまちづくりへの貢献が必要

生活価値創造
富山 Toyama Shimin Plaza 市民プラザ
まちづくり事業部

●お問い合わせ先
TEL 076-495-5900
〒930-0083　富山市総曲輪３丁目３番 16 号ウィズビル３階